

| | | | |
|--|--|---------|----------|
| 科目区分 | 専門基礎分野 | 授業科目 | 公衆衛生 |
| 講師名 | 中本 稔 | 実務経験の有無 | 有 |
| 単位数(時間) | 1単位(15時間) | 開講年次 | 3年次 第1学期 |
| 授業概要 *講師からのメッセージ | 地域における健康増進と疾病予防について、公衆衛生看護を専門とする保健師から実際の活動について学び、看護における患者教育や地域・在宅看護に活かしていきましょう。 | | |
| <p>目的：社会・経済・生活環境との関わりから集団を対象とした健康の増進と疾患予防を捉え、地域住民の健康な生活を確保するために必要な基礎的能力を養う</p> <p>目標：1. 公衆衛生の概念とわが国の公衆衛生の歴史的な背景を理解する 2. 健康、疾病、障害とそれを取り巻く環境の影響を理解する 3. 集団の特徴を捉える疫学的方法を理解する 4. 健康を維持増進するための対象に応じた、組織的な保健活動の実際を知る</p> | | | |
| 回 | 授 業 内 容 | | |
| 1 | 1. 公衆衛生とは 公衆衛生学の概念 ヘルスプロモーション プライマリヘルスケア 健康レベルに応じた活動(ゼロ次予防・一次予防・二次予防・三次予防) | | |
| 2 | 2. 公衆衛生の歴史 時代とともにみる公衆衛生の歴史と地域保健法・健康日本21・健康増進法 他 | | |
| 3 | 3. 集団の健康をとらえるための疫学的手法 疫学とは、因果関係、実際の活動 | | |
| 4 | 4. 対象に応じた公衆衛生活動 ① 母子保健・成人保健・高齢者保健・精神保健 | | |
| 5 | 5. 対象に応じた公衆衛生活動 ② 歯科保健、難病支援・障害支援、感染症対策、環境衛生、食品衛生 | | |
| 6 | 6. 産業保健と学校保健 | | |
| 7 (45分) | 7. 国際保健 | | |
| 8 (45分) | 終了試験 | | |
| 授業方法 | 講義 | | |
| 評価方法 | 筆記試験 100点満点 評価基準参照 | | |
| テキスト | 医学書院：系統看護学講座 健康支援と社会保障制度〔2〕公衆衛生 | | |
| 備考 | | | |